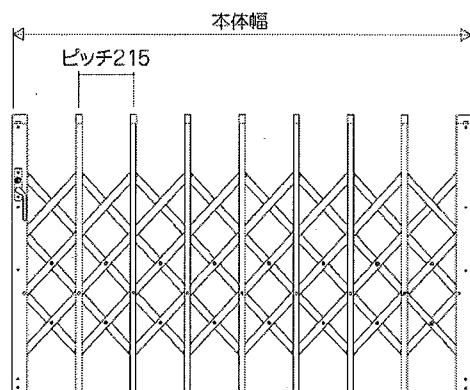


梱包明細

- 開梱時に次の品物がそろっているか確認してください。万一欠品などがございましたら、お買上げの販売店、又は、もよりの営業所までお申し付けください。

部 材 名 称	梱 包 内 容
扉 本 体	扉① キャップセット① 落し棒セット①
門柱セット(片開き12)	門柱② キャップセット① 組立施工マニュアル① お施主様用手引き①
門柱セット(片開き14)	門柱② キャップセット① 組立施工マニュアル① お施主様用手引き①
門柱セット(両開き12)	門柱② 高さ調整パイプセット① 組立施工マニュアル① お施主様用手引き①
門柱セット(両開き14)	門柱② 高さ調整パイプセット① 組立施工マニュアル① お施主様用手引き①
ヒンジセット	ヒンジセットA(上側)① ヒンジセットB(下側)①

本体寸法について



XH型

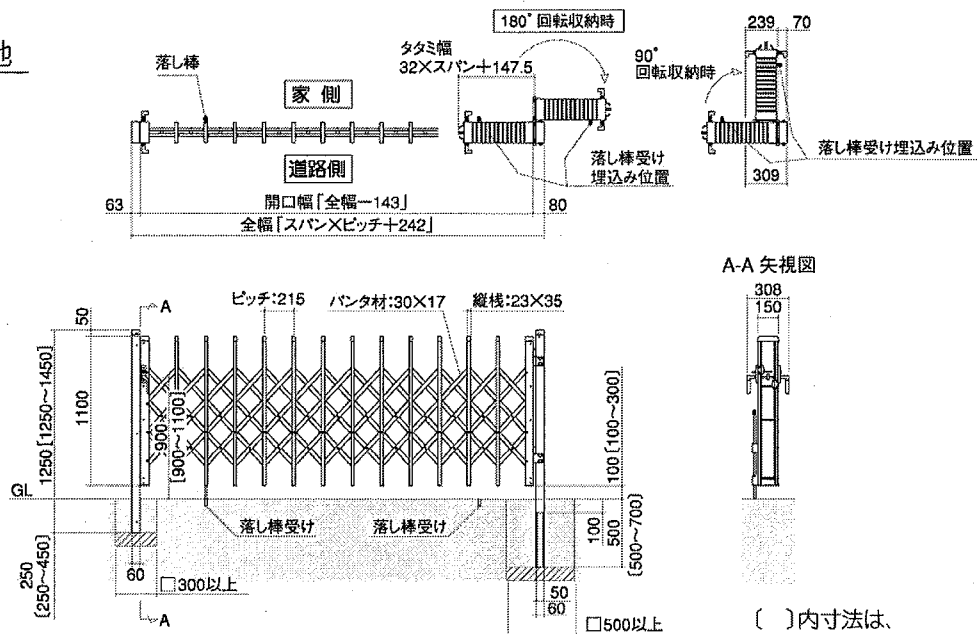
呼 称	スパン	本 体 幅	本体たたみ幅	落し棒の数
特 寸	4	957	225	1
13S	5	1172	257	1
15S	6	1387	289	1
17S	7	1602	321	1
19S	8	1817	353	1
21S	9	2032	385	1
23S	10	2247	417	1
26S	11	2462	449	1
28S	12	2677	481	1
30S	13	2892	513	1

納まり図・規格寸法表

片開き

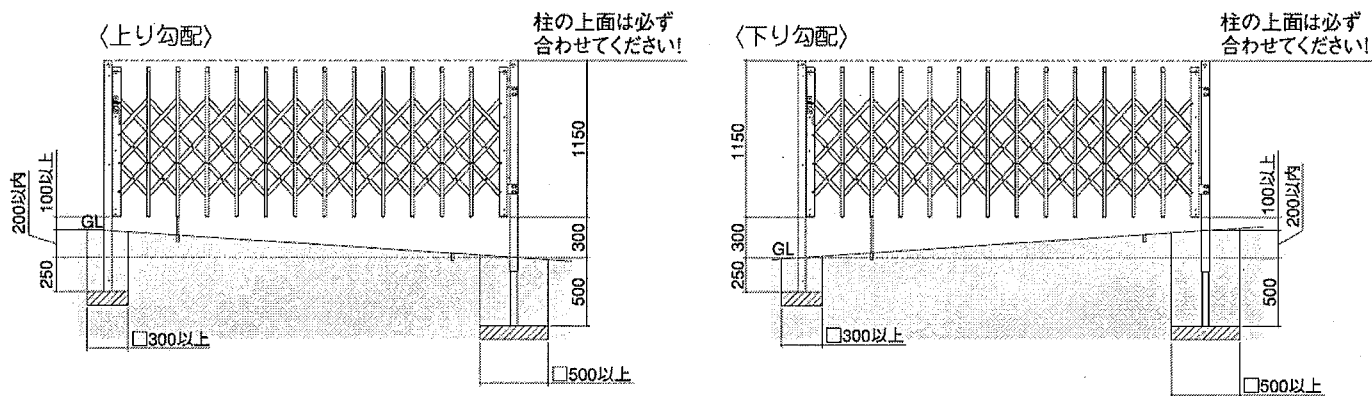
※ 本図は外観視 右勝手・内開きを表します。

水平地



()内寸法は、
門柱セット14タイプを示します。

傾斜地



門柱セット14タイプを使用します。
左右の門柱のGLラインの高低差が、200mmまで対応可能です。
扉からGLまでの空き寸法を100mm以上にしてください。

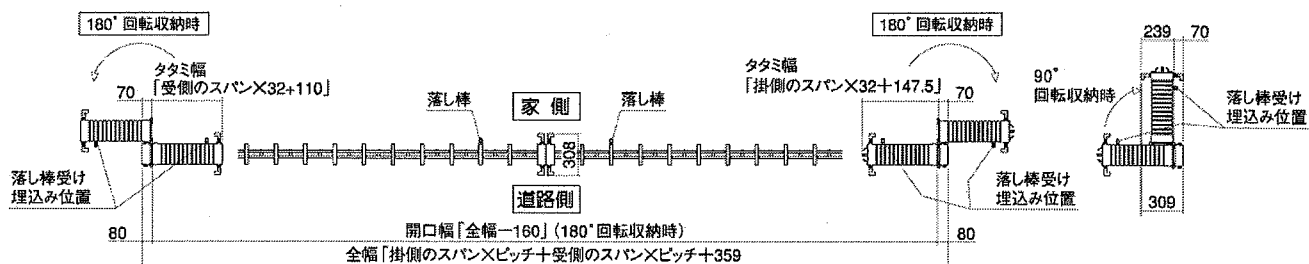
規格寸法表

자녀형

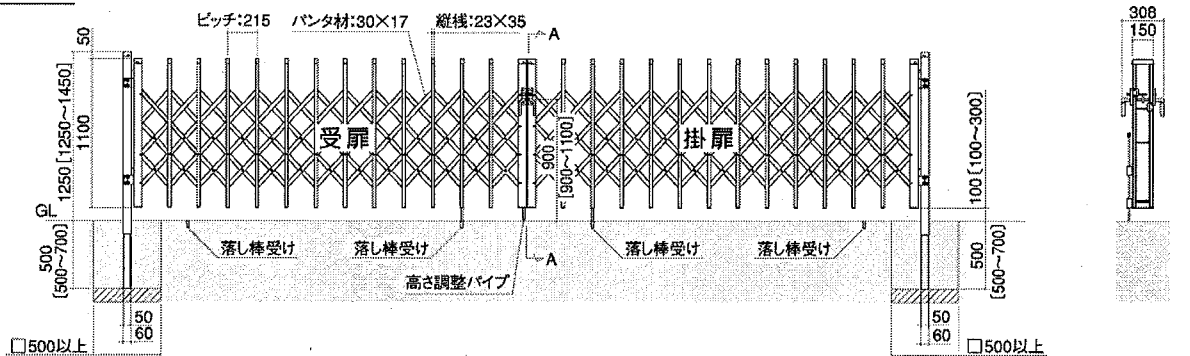
サイズ	全 幅	開口幅	たたみ幅	落し棒の数
13S	1317	1174	307.5	1
15S	1532	1389	339.5	1
17S	1747	1604	371.5	1
19S	1962	1819	403.5	1
21S	2177	2034	435.5	1
23S	2392	2249	467.5	1
26S	2607	2464	499.5	1
28S	2822	2679	531.5	1
30S	3037	2894	563.5	1

両開き(両開き親子)

※ 本図は外観視 右勝手・内開きを表します。

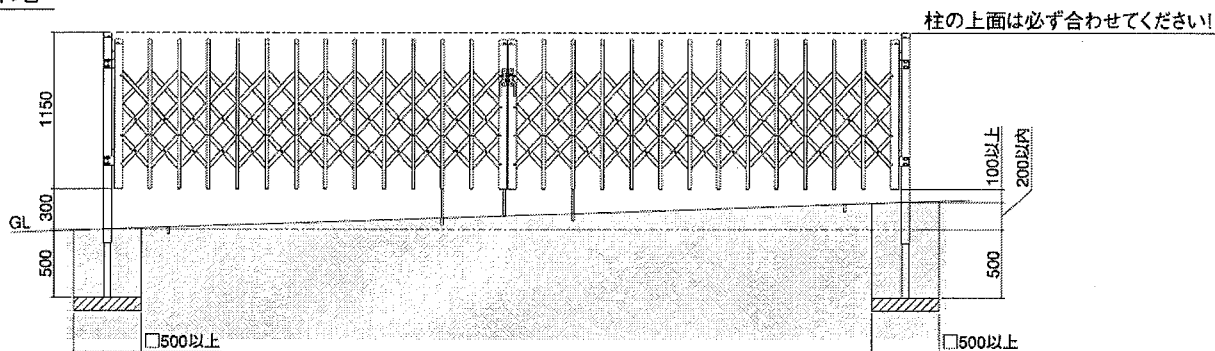


水平地



[] 内寸法は、門柱セット14タイプを示します。

傾斜地



門柱セット14タイプを使用します。
左右の門柱のGLラインの高低差が、200mmまで対応可能です。
扉からGLまでの空き寸法を100mm以上にしてください。

規格寸法表

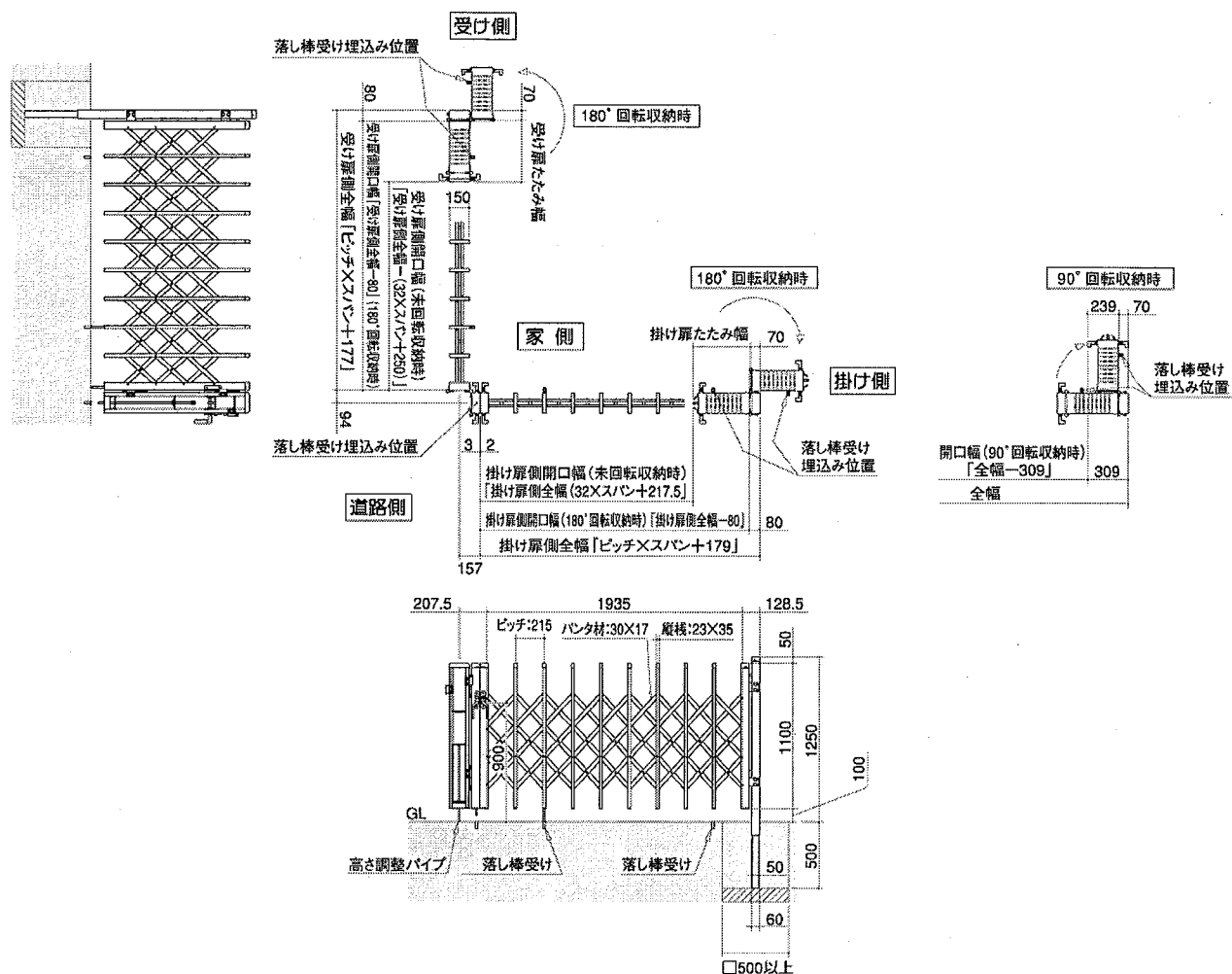
XH型

サイズ	全 幅	開口幅	たたみ幅		落とし棒の数	高さ調整パイプの数
			掛 扉	受 扉		
25W	2509	2349	307.5	270	2	1
29W	2939	2779	339.5	302	2	1
33W	3369	3209	371.5	334	2	1
37W	3799	3639	403.5	366	2	1
42W	4229	4069	435.5	398	2	1
46W	4659	4499	467.5	430	2	1
50W	5089	4929	499.5	462	2	1
55W	5519	5359	531.5	494	2	1
59W	5949	5789	563.5	526	2	1

※ 掛扉・受扉の異なるサイズの組合せは、右表を越えない範囲で可能です。スパン数・納まり寸法の算出については、2ページ(本体寸法について)をご参照ください。

最大スパン数 26以下

両開き角地



規格寸法表

XH型

サイズ	スパン	掛け扉側 全 幅	掛 け 扉 たたみ幅	受け扉側 全 幅	受 け 扉 たたみ幅	落とし棒の数	高さ調整パイプ の数
25W	5	1254	307.5	1252	340	2	1
29W	6	1469	339.5	1467	372	2	1
33W	7	1684	371.5	1682	404	2	1
37W	8	1899	403.5	1897	436	2	1
42W	9	2114	435.5	2112	468	2	1
46W	10	2329	467.5	2327	500	2	1
50W	11	2544	499.5	2542	532	2	1
55W	12	2759	531.5	2757	564	2	1
59W	13	2974	563.5	2972	596	2	1

※ 掛扉・受扉の組合せは、右表を越えない範囲で可能です。

スパン数・納まり寸法の算出については2ページ(本体寸法について)を参照ください。

最大スパン数

26以下

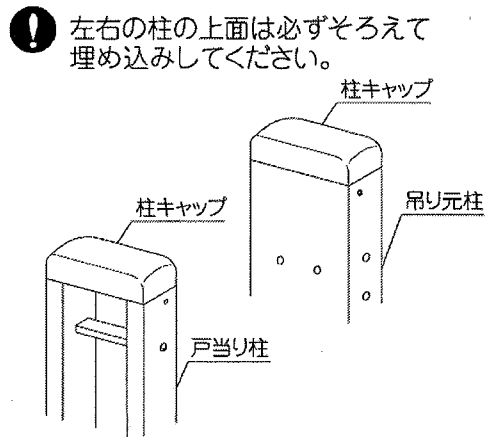
施工手順

1 柱の埋設

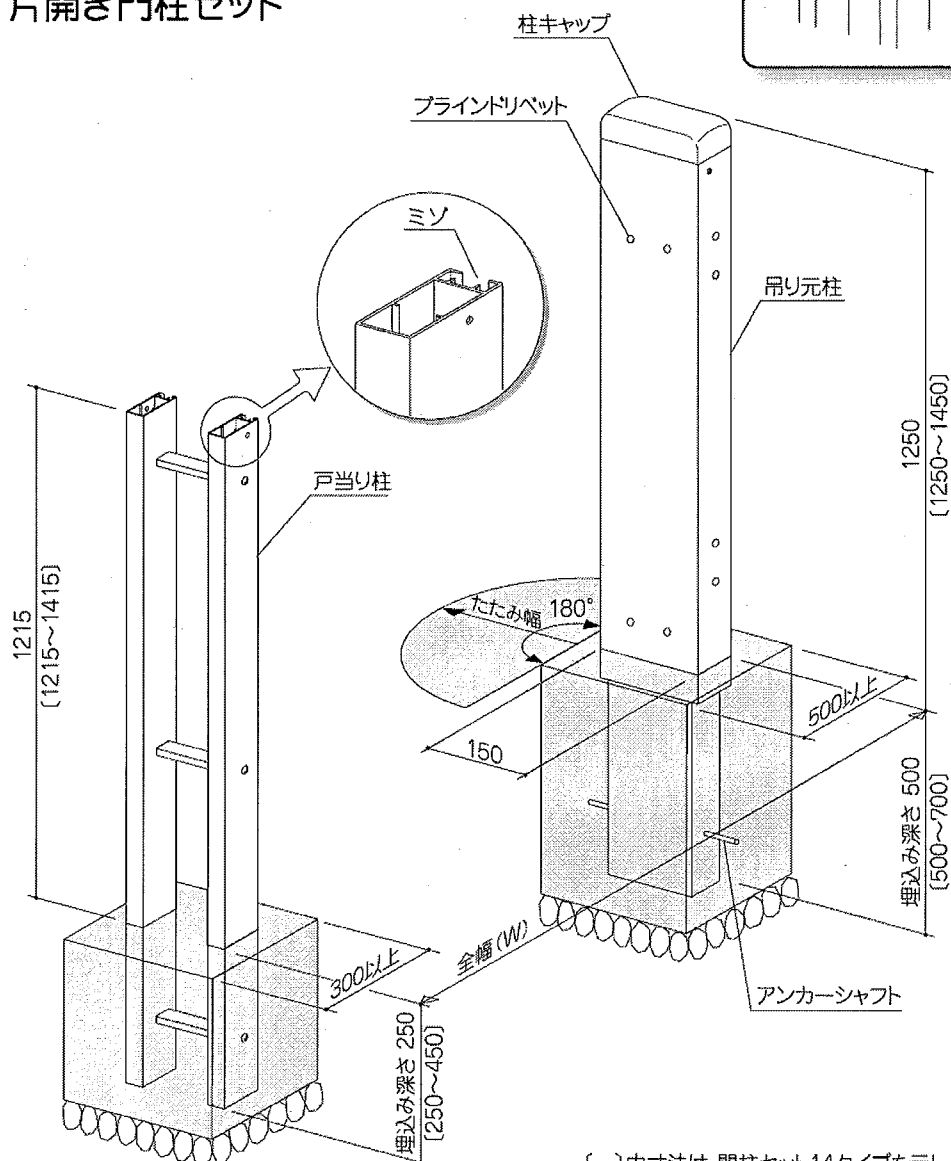
※このマニュアルは、外観右勝手(右吊り元)内開きにて記載しています。

- ① 柱の埋込み位置を決定し(納まり図及び規格寸法表を参照)水平・垂直を出し埋込みをしてください。
吊り元柱の場合は、ブラインドリベット側を本体取付け側の方に向け柱下部にアンカーシャフトを差し込んで、埋込みをしてください。
- ② 柱埋設してください。埋設後は、動くことのないよう、十分養生してください。

! 柱の埋設は、設置の際の注意事項(下記)、納まり図及び規格寸法表(P3~P5)を参照の上、行ってください。
全幅を規格寸法以上に広げないでください。また、埋設は正確に行ってください。



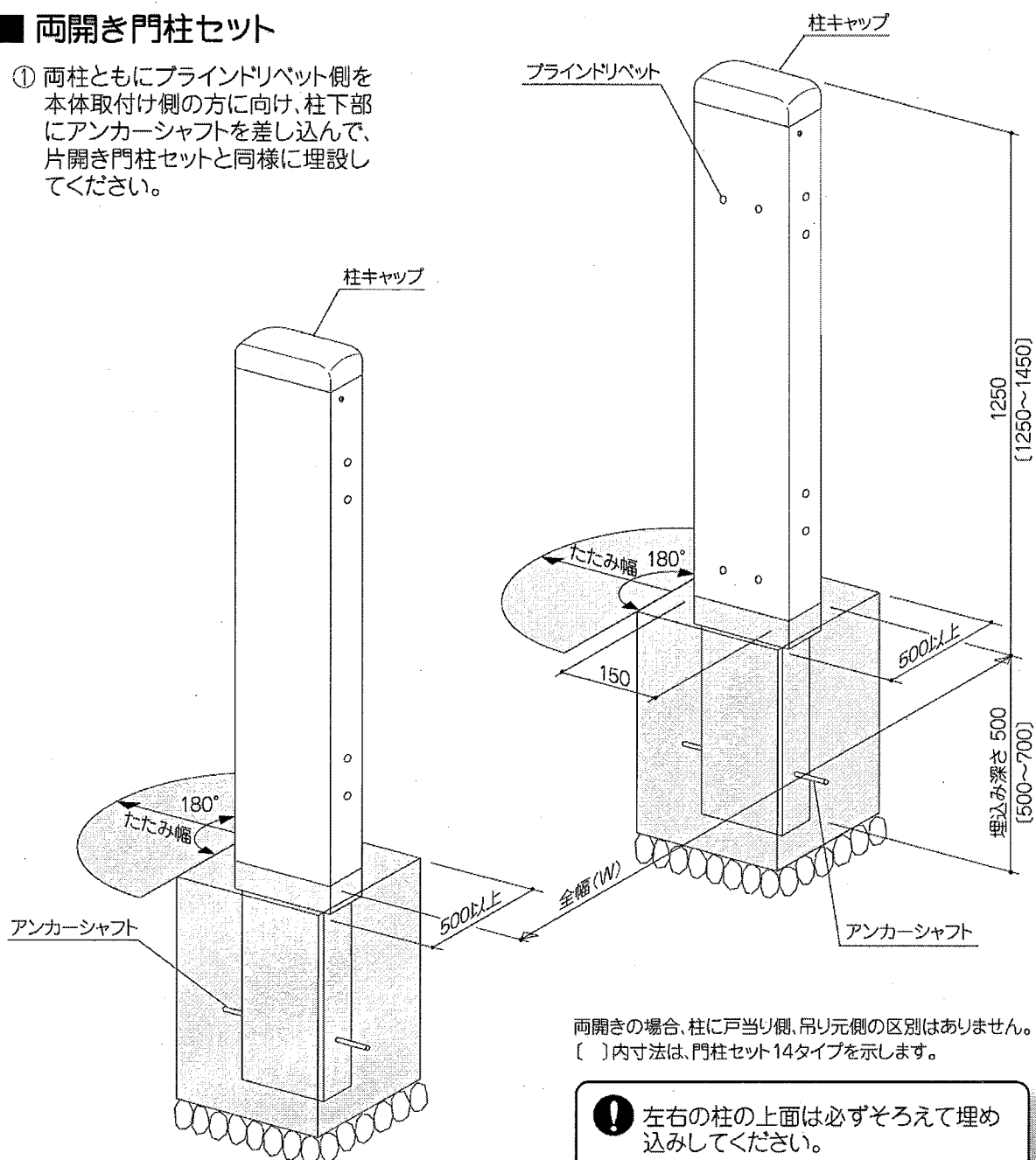
■ 片開き門柱セット



()内寸法は、門柱セット14タイプを示します。

■ 両開き門柱セット

- ① 両柱ともにブラインドリベット側を本体取付け側の方に向け、柱下部にアンカーシャフトを差し込んで、片開き門柱セットと同様に埋設してください。



！ 左右の柱の上面は必ずそろえて埋め込みしてください。

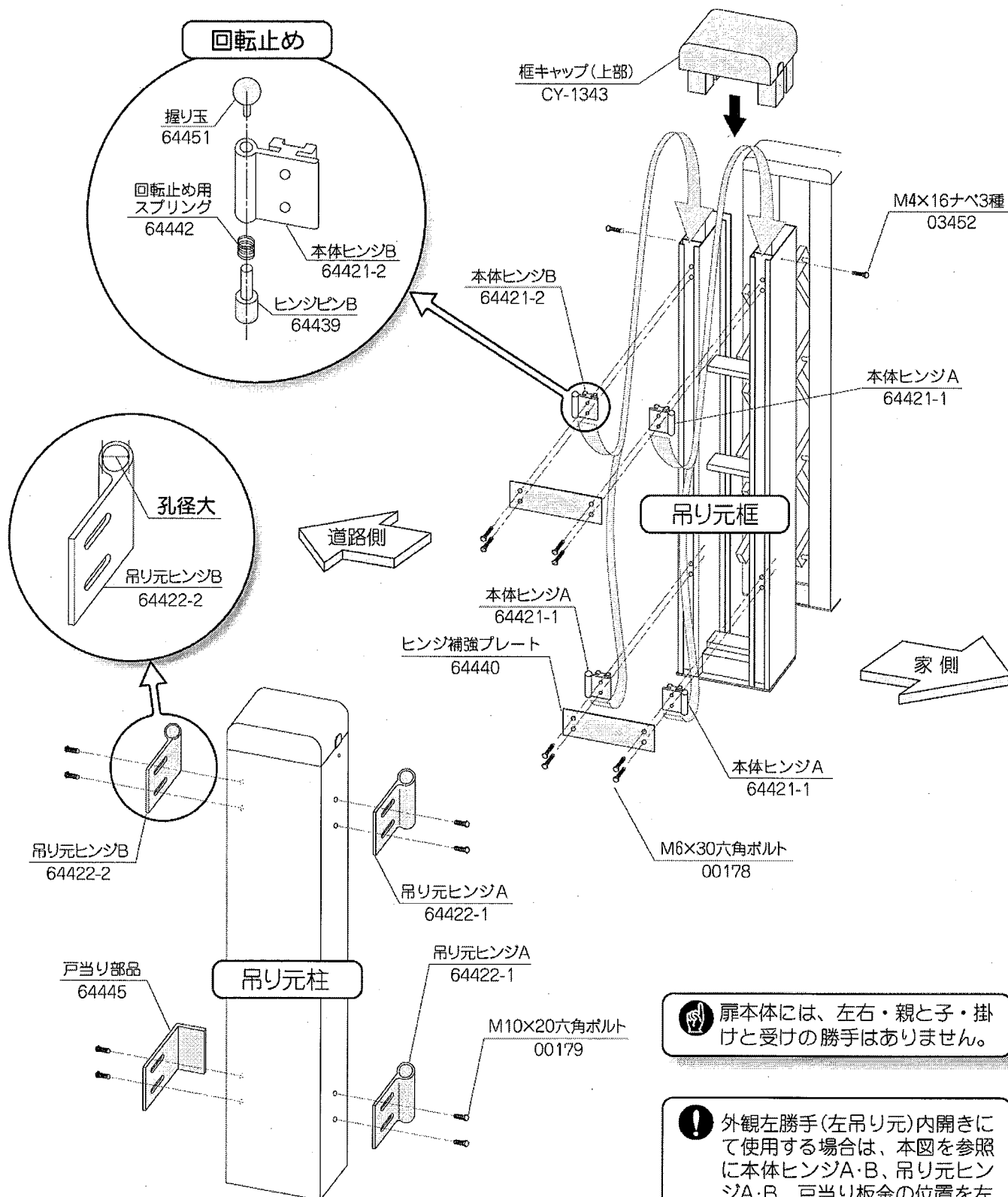
設置の際の注意事項

- 回転収納時・ハンドル操作等に支障がない様、下記の寸法取り合いにしてください。

塀と直角になる場合		塀と平行になる場合	
戸当り柱側	吊り元柱側	戸当り柱側	吊り元柱側

2 ヒンジの取付け

- ① 回転収納方向の確認を行い本体ヒンジA・B・吊り元ヒンジA・B・戸当り部品の向きと位置を決定し、本体ヒンジA・Bを吊り元框にスライド挿入し、ヒンジ補強プレートをあてがいM6×30六角ボルトで裏板に締め込み固定してください。吊り元ヒンジA・B・戸当り部品はM10×20六角ボルトで締め付け仮止めしてください。
- ② 本体ヒンジBに下から回転止め用スプリングとヒンジピンBを挿入し、上から握り玉で締め込み固定してください。
- ③ 框キャップ(上部)をM4×16ナベ3種で取付けてください。



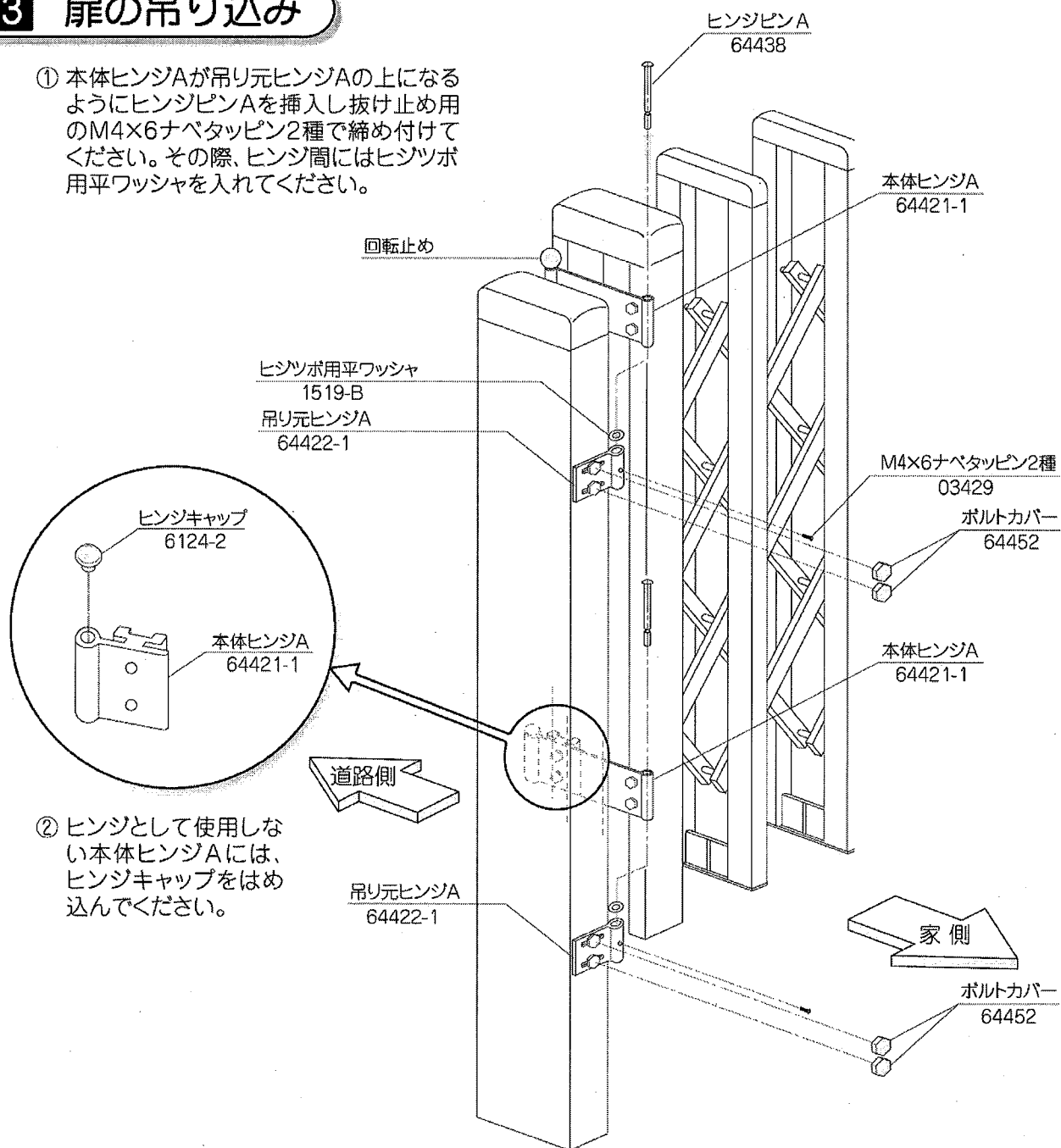
扉本体には、左右・親と子・掛けと受けの勝手はありません。



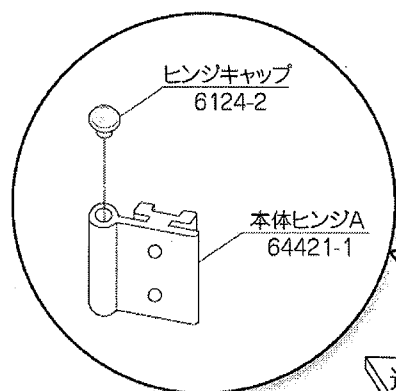
外観左勝手(左吊り元)内開きにて使用する場合は、本図を参照に本体ヒンジA・B、吊り元ヒンジA・B、戸当り板金の位置を左右逆に取付けてください。

3 扉の吊り込み

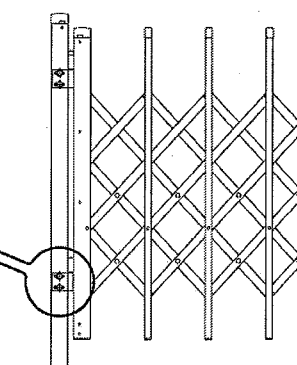
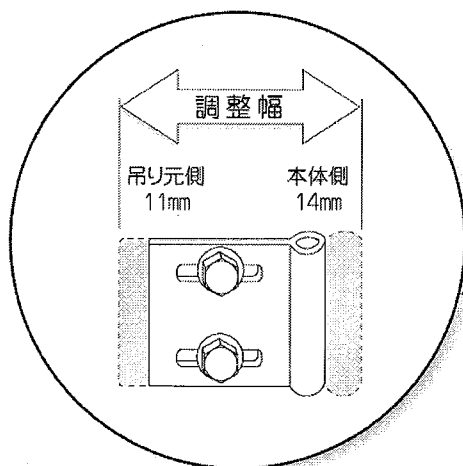
- ① 本体ヒンジAが吊り元ヒンジAの上になるようにヒンジピンAを挿入し抜け止め用のM4×6ナベタッピン2種で締め付けてください。その際、ヒンジ間にはヒンジボ用平ワッシャを入れてください。



- ② ヒンジとして使用しない本体ヒンジAには、ヒンジキャップをはめ込んでください。



- ③ 扉を閉じた状態で水平となるよう吊り元ヒンジA・B、戸当り部品の出幅調整をし、仮止めした六角ボルトを本締めしてください。



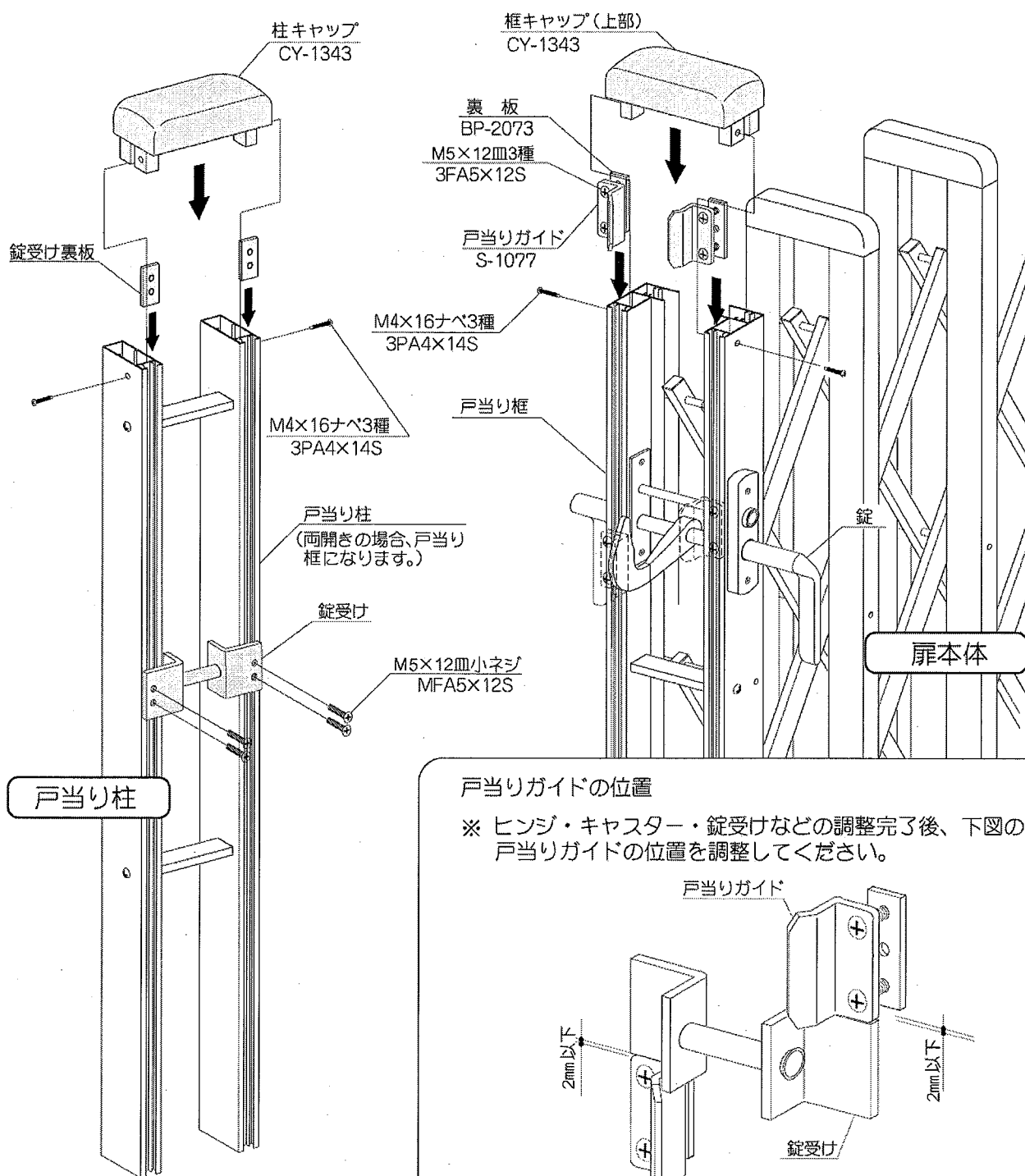
- ④ ボルトカバーを回転収納側の六角ボルト4ヶ所にかぶせてください。
※吊り元ヒンジA以外にはつきません。

4 錠・錠受け・戸当りガイドの取付

- ① 錠受け裏板を戸当り柱(両開きの場合は戸当り框)上部より溝にスライドさせ落とし込み、M5×12皿ネジで錠受けを仮止めしてください。
- ② 錠の取付けを行ってください。(錠セット梱包内のマニュアルを参照してください。)
- ③ 戸当りガイドを扉本体の戸当り框上部よりスライドさせM5×12皿3種で仮止めしてください。
- ④ 柱キャップ、框キャップ(上部)をM4×16ナベ3種で取付けてください。

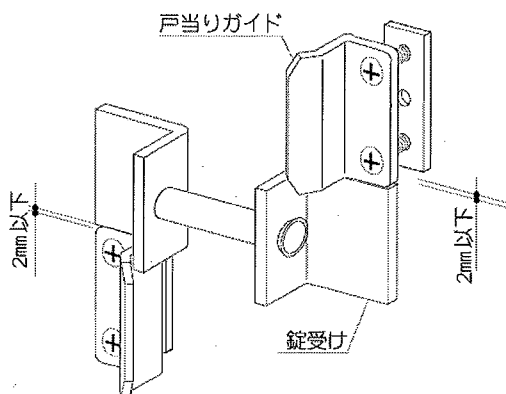


錠セット梱包内の回転止め金具は、ニューエクジスカーゲートXH型には、使用しません。



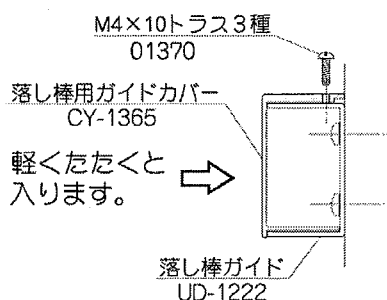
戸当りガイドの位置

※ ヒンジ・キャスター・錠受けなどの調整完了後、下図の様に戸当りガイドの位置を調整してください。



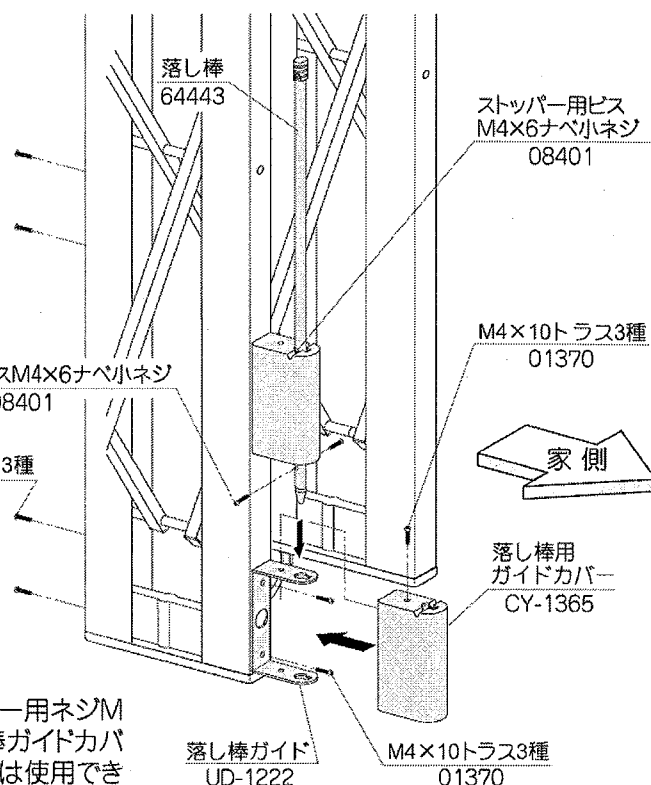
5 落とし棒の取付

- ① 落とし棒ガイドを家側に取付けM4×10トラス3種で締めつけ固定してください。
- ② 次に落とし棒用ガイドカバーをはめ込みM4×10トラス3種で締めつけ固定してください。



抜け止め用ビスM4×6ナベ小ネジ
08401

孔塞ぎ用ビス
M4×10トラス3種
01370

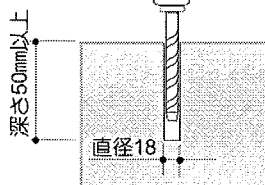


- ③ 落とし棒を上から落とし込み、抜け止め用M4×6ナベ小ネジ2本を取付けてください。
- ④ 道路側に同様の取付け孔加工がされていますので、M4×10トラス3種で塞いでください。
- ⑤ 門柱セット14タイプを使用する場合の落とし棒ストッパー用ネジM4×6ナベ小ネジの位置は、上部・下部どちらの落とし棒ガイドカバーのV溝でも使用できますが、GL仕上げにより下部では使用できない場合があります。現場の状態に合わせて使い分けてください。

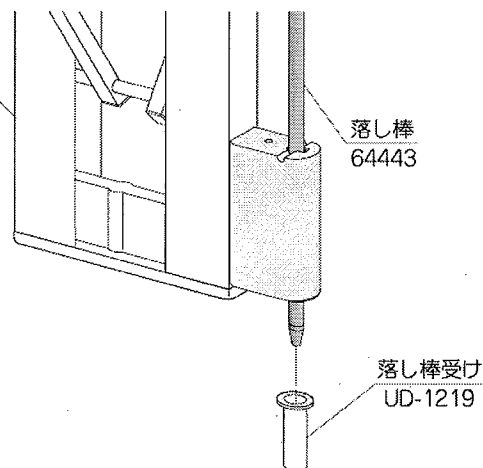
6 落とし棒受けの埋込み

- 扉を閉じた状態で現場に合わせて落とし棒受けを埋込んでください。
- 扉を開いた状態でも同様に落とし棒受けを埋込んでください。

埋設位置・数量は、納まり図及び規格寸法表(P3～P5)を参照してください。

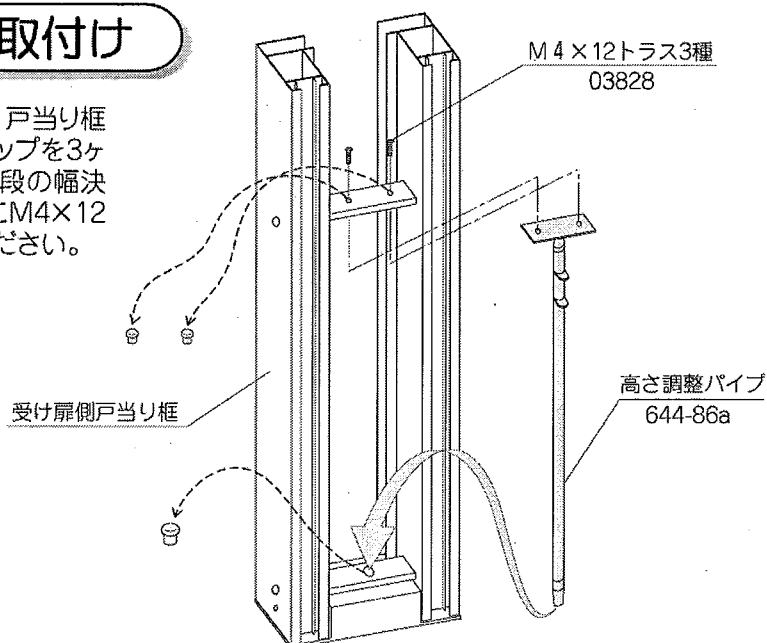


扉本体



7 高さ調整パイプの取付け

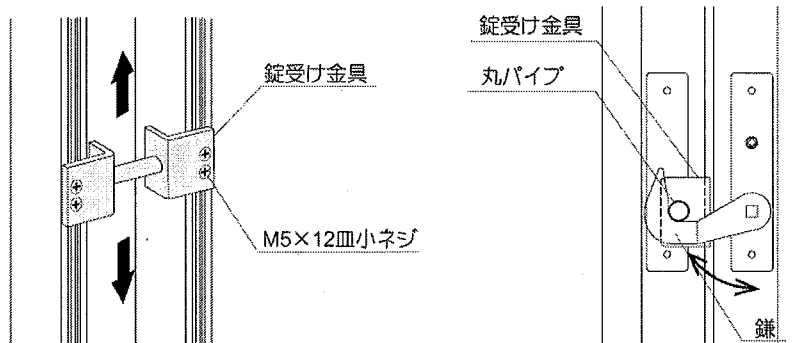
- ① 両開き受け扉として使用の場合、戸当り框の幅決め材に挿入してあるキャップを3ヶ所取り除き、高さ調整パイプを下段の幅決め材に挿入し、中段の幅決め材にM4×12トラス3種で締め付け固定してください。
- ② 固定後、上下動作確認をしてください。動きが重い時、キシミ音などがする時は、M4×12トラス3種のネジを緩めて取付位置の調整をし、再度固定してください。



8 各種の調整

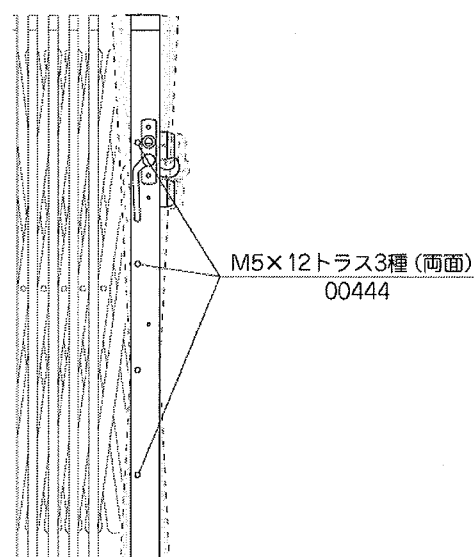
1. 錠受け金具の調整

❗ 錠・鎌を操作した時に、
鎌が丸パイプに十分に
嵌合するように調整し
てください。



2. 戸当り框の調整

❗ 戸当り框にあるM5×12トラス3種を6ヶ所緩め、片開きの
場合戸当り框と戸当り柱、両開きの場合戸当り框（掛け
側）と戸当り框（受け側）が垂直になるよう調整しネジを
締め付け固定してください。



3. 開口幅調整ストッパーの調整

- ① 工場出荷時にあらかじめ、全幅に合わせて位置出しされています。設置後、閉扉時にスライドシャフトが開口幅調整ストッパーにぶつかる様調整してください。
- ② 開口幅調整ストッパーは、吊り元框側から1本目の縦棧にあります。内外両面にありますので扉を閉じた状態で全て調整してください。

